

A I C H I P R E F E C T U R A L C E R A M I C M U S E U M



CERAMIC CRAFT STUDIO

D 陶芸館



陶芸指導員の指導のもと、「作陶」または「絵付け」が体験できる工房です。個人から団体、また小さいお子様や高齢の方、障がいのある方も安心してご利用いただけます。

※制作には概ね2時間程度必要のため、午後2時30分受付終了します。
※予約制。料金等は公式WEBページをご覧ください。

通常の体験の他にも、多彩なテーマでイベント・講座を開催しています。

はじめての陶芸館

- 4月 土を転がし一輪挿し
- 5月 似顔彫刻
- 6月 多肉植物のための器
- 7月 恐竜
- 8月 落書き印花皿
- 9月 薪窯でこま犬
- 10月 薪窯でぐい呑み
- 11月 干支「寅」
- 12月 節分「福笑う、笑い鬼」
- 1月 陶雛 やきもののひな人形
- 2月 炎で描く抜き絵の世界
- 3月 五月人形「兜」



アーティスト in 陶芸館

- 5月16日 長江重和(陶芸家・瀬戸)
- 7月18日 柴田正明(陶芸家・常滑)
- 8月15日 ノベルティ・レース人形
- 9月19日 高山大(陶芸家・三重)
- 11月21日 杉山ひとみ(名古屋絵付)
- 1月16日 鈴木孝幸(現代美術家)
- 3月20日 岡崎達也(陶磁器デザイン・クラフト)



灰釉印花文手付水注
瀬戸 鎌倉時代(14世紀)

※イベント・講座は、開催の約2ヶ月前に募集を行います。

REPRODUCED OLD KILNS

F 復元古窯



復元古窯焼成の様子

瀬戸や美濃で、室町時代(16世紀)にやきものを焼いていた大窯と、江戸時代末(19世紀)の登り窯を復元した窯を見学できます。毎秋恒例の「復元古窯焼成」は実際に登り窯を焚くイベントで、どなたでも参加することが可能です。

SOUTH HALL

C 南館

愛知のやきもの「今」
1F 瀬戸・常滑など、日本屈指のやきもの産地を擁する愛知県。常設展では食器・花器・装飾品から建築材まで、私たちの暮らしをささえる様々な愛知のやきもの種類や製作工程などを詳しく紹介しています。年4回のテーマ展示も開催。



レース人形「マドモアゼル」
瀬戸 T・K名古屋人形製陶
1995年

愛知のやきもの1万年
2F 縄文・弥生時代から江戸・明治時代にかけての愛知県のやきもの作りの歴史をたどります。愛知県内の遺跡から出土した土器(愛知県埋蔵文化財センター調査)や当館所蔵の愛知ゆかりの古陶磁約100点を展示しています。



灰釉印花文手付水注
瀬戸 鎌倉時代(14世紀)

WEST HALL

B 西館



掛分狛犬 阿美濃
江戸時代中期
正徳4年(1714)

瀬戸・美濃を中心とした陶製こま犬コレクションから、魅力あふれる約100体を紹介。守護獣として、あるいは奉納品として、人々の願いを込めて作られたこま犬たちに会いに来てください。なお、西館での展示は2021年12月までとなり、2022年1月に本館へ移設しリニューアルする予定です。
★12月13日(月)から休館

陶磁のこま犬百面相

OLD KILN-SITE HOUSE

E 古窯館



平安時代-鎌倉時代の窯

敷地内から発掘された平安時代-鎌倉時代(12-13世紀)の窯を展示しています。良好な保存状態の窯群を目前にご覧いただける、全国的にも珍しい施設です。

やきものって、
なんだかワクワクする!

- A** 名品と出会うゾーン
- B** 駐車場
- C** 障がい者優先駐車場
- D** バス停(土・日・祝日のみ運行)
- E** レストラン、軽食
- 最短ルート



D E F つくるゾーン

おすすめコース

- 見るコース(2~5時間)
A 本館 → B 西館 → C 南館 → E 古窯館
- つくるコース(3~4時間)
A 本館 → D 陶芸館
- よくばりコース(1日)
A 本館 → D 陶芸館 → E 古窯館 → C 南館 → B 西館

県道209号
「陶磁美術館前」
交差点から約800m

開館時間 午前9時30分~午後4時30分
(ただし7月1日-9月30日の間は午後5時閉館、いずれも入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(ただし休日の場合は開館し、直後の平日を休館とします)
年末年始(12月28日-1月4日は全館休館。12月13日-27日は南館のみ開館)

観覧料 常設展・テーマ展(企画展と特別展はその都度定めます)

一般	400円(団体320円)
高校生・大学生	300円(団体240円)

(企画展と特別展の各種割引制度の詳細は、公式WEBページをご覧ください)

交通アクセス
リニモ
「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
(リニモへは地下鉄東山線「豊が丘」駅または愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)

名鉄瀬戸線・バス
「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から
名鉄バス「美野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き
「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)

自家用車
・東名高速「名古屋」ICから約10km
・名二環「本郷」ICから約10km
・名古屋瀬戸道路「長久手」ICから約5km

駐車場 駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容

Hours: 9:30am-4:30pm (Open: ~5:00pm: July 1 - Sept 30)
Closed on Mondays and New Year Holidays
(Dec 28 - Jan 4 All halls are closed)
(Open on a national holiday and closed on the day after)

Fee Permanent and Thematic Exhibitions

Adults	400yen (group 320)
Student	300yen (group 240)

(Free admission for Junior-high school students and children)
Special exhibitions: fee may vary. There are some discounts available.

Access Public transportation: railway or bus are available.

公式WEBページ: <https://www.pref.aichi.jp/touji/>



愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL: 0561-84-7474 FAX: 0561-84-4932
234 Minamiyamaguchi-cho, Seto,
Aichi 489-0965, JAPAN

公式WEBページ

日本最大級の やきものミュージアム

愛知県陶磁 美術館は…

1978年に日本を代表する窯業地・瀬戸に「愛知県陶磁資料館」として開館。2013年に「愛知県陶磁美術館」に名称変更し新たなスタートを切りました。緑あふれる広大な敷地内に、充実した3つの展示施設「本館」「南館」「西館」、作陶体験施設「陶芸館」、古窯跡を公開する「古窯館」など、様々な角度からやきものにアプローチするやきもの専門ミュージアムです。



日本モダニズム建築の 巨匠が手がけた 建物も見どころ

本館と南館は、東宮御所や帝国劇場などの設計者として知られる建築家・谷口吉郎(1904-1979)の設計に基づいて建てられました。日本ならではのモダニズム建築を目指した谷口氏の晩年の名建築です。



〈常設展〉
日本と世界の
やきもの

MAIN HALL

A 本館

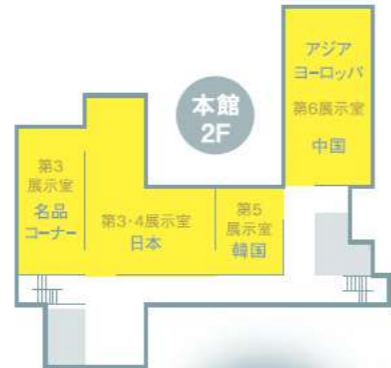


装飾付台付壺
古墳時代後期 6世紀



加彩女子俑 中国
前漢時代 前2世紀

本展は、厳選された名品を紹介するコーナーからはじまり、縄文時代から現代に至るまでの日本のやきもの歴史、世界のやきものや全国の窯跡出土陶片などを一挙に紹介する大規模な展示です。古今東西のやきもの技と美を、心ゆくまでご堪能ください。



名品と
出会う

現代の
陶芸

—越境への誘い
当館が所蔵する現代陶芸のコレクションを「越境」というキーワードで捉え、美術や工芸という枠組みだけでなく、国・歴史・文化・伝統などさまざまな境目を越えて生み出されてきた表現を紹介します。

瀬戸・常滑作家コーナー
協力：瀬戸陶芸協会、常滑陶芸作家協会

★12月13日(月)から休館



フレッシュ・ボット
ルディ・オーティオ 1963年



色絵唐獅子牡丹文鳥甲斐彫形(部分修復) 有田
1700-30年代 ロースドルフ城

海を渡った古伊万里 ～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～

特別
展 本館1F

2021年 4月10日(土) - 6月13日(日)

ウィーンウの古城・ロースドルフ城の陶磁コレクションは、第2次世界大戦直後の混乱期に悲惨な破壊を受けました。本展では、国内にある古伊万里の名品とともに、日本の修復技術によって絢爛豪華な姿を取り戻した作品を初公開します。

■ 荒川正明氏(4/10) 藪山浩司氏・荒川正明氏(4/11) 森谷美保氏(5/1)

	2021 4 APR.	5 MAY	6 JUN.	7 JUL.	8 AUG.	9 SEP.	10 OCT.	11 NOV.	12 DEC.	2022 1 JAN.	2 FEB.	3 MAR.
展示会 関連イベント	WS 古伊万里展 重ねて描く①	WS 古伊万里展 重ねて描く②③		WS 水滴展(会期中に2回予定)			WS 華花展 花の器①	WS 華花展 花の器②	WS 華花展 花の器③	WS 昭和レトロ展 転写シールでカラージュ①	WS 昭和レトロ展 転写シールでカラージュ②	
		GT 古伊万里展 (5/4・5/23)	GT 古伊万里展 (6/13)	講 WS 水滴展(会期中に1回予定)			連 牡丹と中国陶磁	連 蓮と中国陶磁	連 梅と中国陶磁		GT 昭和レトロ展	
	連 古伊万里 西洋へ 青・赤・金(4/18)	連 輸出の華・幕末明治の 陶磁(5/9)	連 ヨーロッパの磁器 白への憧れ(6/6)	連 水滴展(会期中に2回予定)			他 中国茶会 -牡丹-	他 中国茶会 -蓮-	他 中国茶会 -梅-			連 昭和レトロ展
本館	日本と世界のやきもの(4/1-12/12・1/4-3月末)								休館(12/13-1/4)			
				テ 愛知の新たな宝 -近年収蔵の重要古陶磁(6/26-9/26)					他 文明開化とせとやき -近代前期の瀬戸窯と美濃窯(10/16-12/5)			
南館	もっと伝えたい 愛知のやきもの(4/1-12/27・1/4-3月末)								休館(12/28-1/4)			
		テ 愛知のやきもの・伝統の継承(4/1-6/27)			テ 瀬戸ノベルティ de フィギュア動物園(6/30-9/26)		テ 愛知のやきもので彩るクリスマスと冬のテーブル(9/26-12/26)				テ 愛知やきものプロダクト・デザイン(1/6-3/27)	
西館		WS 瀬戸・伝統の技(5/16)			WS ノベルティ・レース人形(8/15)			WS デコ盛りでXマス(11/21)				WS 射込みで作るかたち(3/20)
	陶磁のこま犬百面相(4/1-12/12)								休館(12/13-)			

※ 予定は変更することがあります。 随時公式WEBページにてお知らせします。 講 = 講演会 WS = ワークショップ GT = ギャラリートーク 連 = 連続講座 他 = その他 テ = テーマ展

水滴 小さき陶芸

—大島国康コレクションを中心に—

企画
展 本館1F

2021年 6月26日(土) - 9月26日(日)

水滴は硯に水をさす時に使う、小さなつわです。高度な技術で作られた実用品である一方、その造形には地域や時代を映した精神性と遊び心が溢れています。本展では、中世から現代にわたる陶製水滴コレクション約千点より選りすぐった名品を紹介します。

華*花

—四季の花と中国陶磁史—

特別
展 本館1F

2021年 10月9日(土) - 12月12日(日)

中華(中国)の美しい花という意味を込めた本展では、南北朝から清時代の中国陶磁を展示します。四季を彩る「牡丹」、「蓮」、「菊」、「梅」に焦点を当て、花文様の色彩と技法や花の表現の魅力を取り上げます。

昭和レトロモダン

—洋食器とデザイン画

企画
展 本館1F

2022年 1月8日(土) - 3月21日(日)

リタケや鳴海製陶など愛知・岐阜の製陶会社が、昭和初期から40年代頃までに手がけた洋食器を紹介します。装飾のデザイン原画もあわせて展示するほか、生産を支えていた転写による絵付技法にも迫ります。

